静岡市立中央図書館　玄関ホール展示・特別講演会

家紋をまとう

― 古典籍にみる 時代のファッション ―

【展示期間】

令和８年 11/10（火）～

令和９年 2/7（日）

【会　場】静岡市立中央図書館
１階　玄関ホール



講演会

令和8年11/29（日）

13:30～15:00

詳細は裏面へ



（図）「千代田の風俗」

- 問い合わせ - 静岡市立中央図書館
静岡市葵区大岩本町 29－1　電話 054(247)6711


加賀友禅染（小ふくさ）

家紋をまとう

― 古典籍にみる 時代のファッション ―

静岡市立中央図書館では、「家紋をまとう―古典籍にみる時代のファッション―」と題し、静岡市在住のきもの文化研究家・萩原敏司氏の貴重なコレクションを公開します。

家紋は、平安時代の公家文化から武家社会、そして江戸時代の町人文化へと受け継がれ、日本人の暮らしや装いとともに、その姿や役割を変えてきました。

会場では、元禄 6 年（1693 年）刊行の『女中達紋尽（じょちゅうだてもんづくし） 男・女』をはじめ、江戸から明治時代の古典籍である雛形本や紋所帳、武鑑など、普段目にする機会の少ない家紋に係る貴重な資料を展示します。華やかな小袖模様や趣向を凝らした「伊達紋」、加賀友禅にみられる家紋などから、当時の人々が装いに込めた思いや、流行を楽しむ心を感じていただけます。

また、錦絵や染型紙なども併せて展示し、家紋が武家だけでなく、町人文化や染織、婚礼など、さまざまな場面で用いられてきたことをご紹介します。

会期中には、萩原氏から展示資料の時代背景や見どころについて詳しく解説していただく講演会も開催します。この機会に、貴重な古典籍や関連資料を通して、家紋の歴史と日本の装いの文化に触れ、身近な「我が家の家紋」にも思いをめぐらせてみませんか。


「絵本答話鑑」西川祐信



「平安紋鑑」

講演会



11/29（日）13:30～15:00

内　　容：展示品の時代背景などの解説
会　　場：中央図書館　2階ホール
定　　員：60人（無料）
申　　込：令和 8 年11月5日（木）9時 30 分から　申込順
　　右の申込フォーム、電話、または窓口でお申し込みください。
問い合わせ：静岡市立中央図書館　☎054-247-6711
　　（静岡市葵区大岩本町29－1）

申込フォーム

講師　**萩原 敏司**（きもの文化研究家）
1932 年生まれ。
2011 年、きもの鑑定士として「開運！なんでも鑑定団」（テレビ東京）に出演。
京都・日本きもの学会や奈良女子大学、静岡大学、日本大学などでの　講師経験多数。



「新板早引定紋鑑 全」